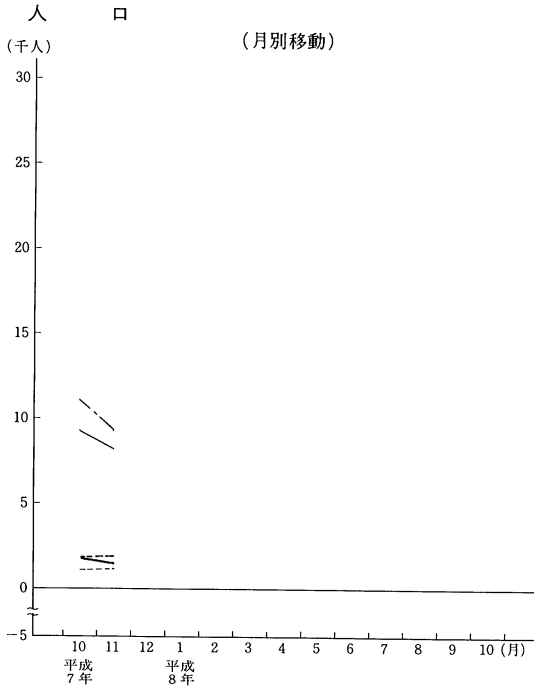
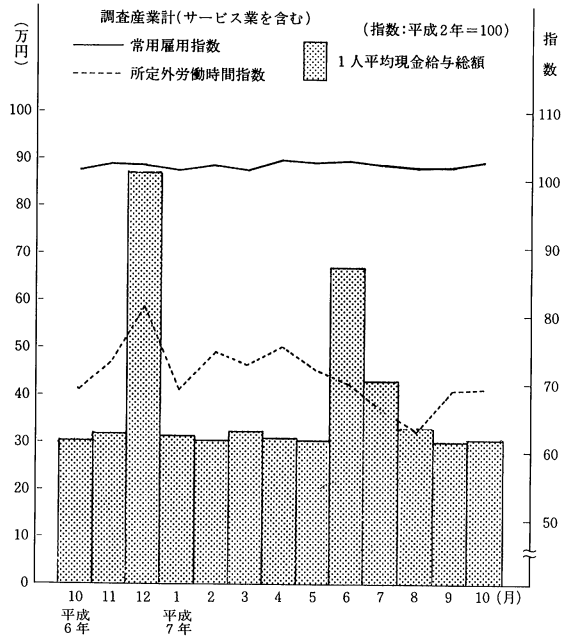


● 今月の主な動き

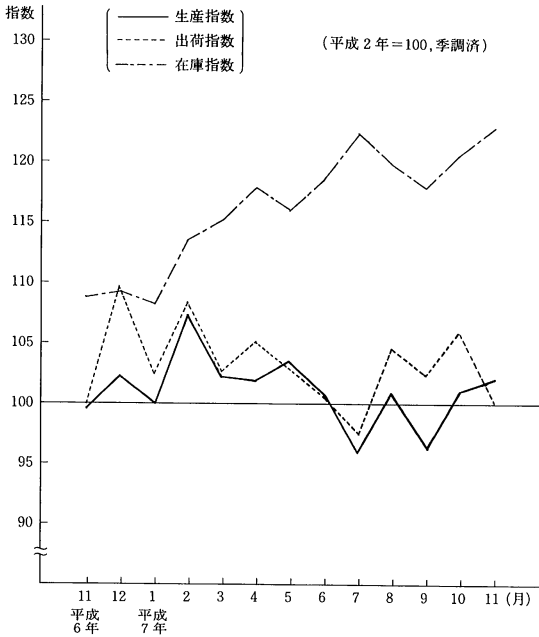
今月の主な動き



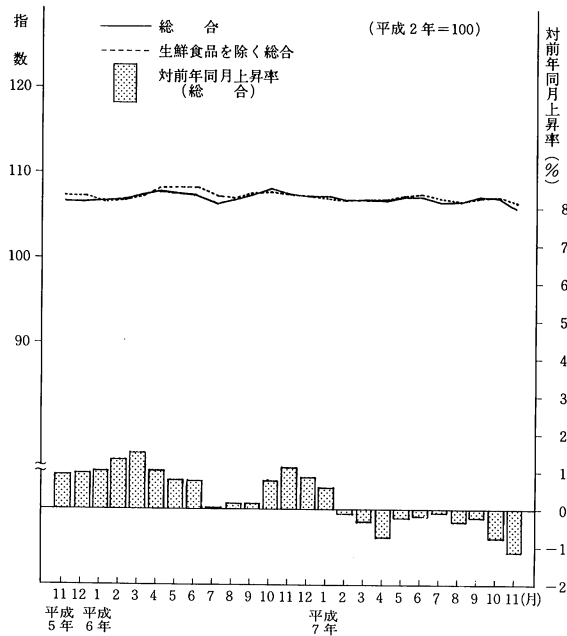
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (12月 1日)

本県の人口は、11月中旬に1,923人増加し、12月1日現在で、2,959,731人(男1,478,776人、女1,480,955人)となった。

内訳は、自然動態で722人(出生2,409人、死亡1,687人)増加し、社会動態で1,201人(転入9,732人、転出8,531人)増加した。前年同月と比べると6,420人(0.2%)の増加である。

ある。

市町村別では、増加が18市40町村、減少が2市24町村、増減なしが1村である。

世帯数についても11月中旬に、1,412世帯増加し925,361世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (10月)

1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で306,117円、対前年同月比1.3%増、このうち、きままって支給する給与は305,675円、対前年同月比1.4%増であった。また、このうち、所定内給与は278,869円、対前年同月比2.1%増であり、超過労働給与は26,806円、対前年同月比4.3%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比2.6%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で164.1時間、対前年同月比1.2%増であった。このうち、所定内労働時間は150.7時間、対前年同月比1.3%増、所定外労働時間は、13.4時間、対前年同月比1.4%減であった。

3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比もちあいであった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (11月)

本県における平成7年11月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が101.7、出荷が99.9、在庫が122.4で、前月比は、生産が0.7%の上昇、出荷が5.5%の低下、在庫が1.6%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が2.1%の上昇、出荷が0.4%の上昇、在庫が12.5%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が上昇し、一般機械工業、その他工業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、鉱業、石油・

石炭製品工業、金属製品工業等が上昇し、一般機械工業、電気機械工業、繊維工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、鉱業、精密機械工業、非鉄金属工業等が低下した。

財別にみると、生産では、その他用生産財、建設財等が上昇し、資本財、耐久消費財が低下した。出荷では、建設財、鉱工業用生産財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (11月)

平成7年11月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.6(平成2年=100)となり、前月比0.7%の下落、前年同月比1.1%の下落となった。

今月の上がった主な項目……油脂・調味料2.6%、魚介類1.1%

今月の下がった主な項目……果物20.8%、野菜・海藻8.6%、調理食品2.2%

生鮮食品を除く総合は107.5となり、前月比もちあい、前年同月比0.3%の下落であった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	106.6	△0.7	△1.1	保健医療	103.0	0.0	0.2
食 料	103.3	△2.2	△3.5	交通通信	99.0	△0.4	0.0
住 居	116.9	0.3	1.1	教 育	116.8	0.0	2.5
光熱・水道	102.5	△0.1	△0.1	教養娯楽	107.9	0.6	△1.5
家具・家事用品	95.8	△0.4	△3.3	諸 雑 費	104.5	△0.2	△0.2
被服及び履物	115.4	△0.2	△0.3	生鮮食品除総合	107.5	0.0	△0.3